



ひので映画大使最新版

第49回映画大使「WOOD JOB! (ウッジョブ!) 神去なあな日常」

期 日 平成26年4月24日(木) ※試写会にて開催
 (5月10日から一般公開)

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

都会育ちの少年が、あるきっかけで「林業」の世界に飛び込み、悪戦苦闘しながらも成長していく姿をユーモアたっぷりに描きます！

三浦しおん原作のベストセラー小説「神去なあな日常」を「ウォーターボーイズ」、「スイングガールズ」など数々のヒット作を世に送り出した矢口史靖監督が映画化！笑いと感動をお届けします。



(C) 2014「WOOD JOB!～神去なあな日常～」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

- ☆ 林業に関わる方達の苦労がよく分かりました！
- ☆ ユーモア溢れる描写に大爆笑！
- ☆ 少年が成長していく姿がよかった！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

現在の日本の林業は、輸入材や、人件費、林業を営む上での伐採や林道整備など整える事も多く、林業に関わっている私の友人の苦労をこの映画からも知りました。

作品自体は、素晴らしい自然を背景とした映像に、CGなどの最新技術も取り入れ、見ごたえがありました。

林業とは、100年前に植えた木を今切り、今植えた木を100年後に切り、といった長い歴史の中で培われているんですね。環境問題としても大きく影響しているので、「今の努力」を怠らないのが大切だと感じました。

■Bさん

昔にはあって、今はないもの…。そんな懐かしい風景がこの舞台にはありました。自我が強くて、人間関係が築きにくい今の世の中ですが、個性的な人が周りにいると、いい意味で、自我を出す前にその世界に染まっていってしまったら、人間関係が出来たりするんですね。

■Cさん

描き方が分かりやすく、すぐその世界に入っていけました。テンポもよく、2時間ずっと引き込まれました。

流れが速い今の時代、100年以上引き継がれていく木の世界など、胸に染み入りました。

野菜市場や魚市場などの競り(せり)は見た事がありますが、木の競りの場面は初めて見ました。新しい事を沢山知る事が出来た作品でした。オススメです！

■Dさん

「仲間っていいな」って思います。仕事は辛い事もありますが、自分自身を磨いてくれるんですよね。この辺りも森林に囲まれているので、身近に感じました。先祖伝来の土地を守り、何代にも渡る家柄や微妙な関係性の中で生きている人々は遅いんですね！

■Eさん

木の生命力が凄い伝わってきて、木の匂いがするようでした。笑いの部分とのバランスが良かったですね。男の職場っていう感じと、都会の子が山の男になっていく姿がいいなって思いました。お祭りとクライマックスシーンに圧倒されました！魅力的な村で、住んでみたいくなりました。

■Fさん

日の出町の林業も今大変ですが、この映画を若い人に観てもらって、盛り返して行って欲しいですね。大変楽しい作品でした。

■Gさん

楽しく観ました。山に対しての恐れと、木に対する敬意というのがきちんと描かれ、偉大なる自然や歴史というものを感じましたし、人の温かさ、ぶつかり合う事の大切さなども知る事が出来ました。伝統に入っていく事の難しさや、それでも未来を繋げていく力を温かく迎えてくれる優しさが良かったですね。

■Hさん

あっという間の2時間で引き込まれました。私も林業はあまり詳しくありませんが、素晴らしい仕事だと思います。生き様を感じますね。登場人物も皆個性的で演技も良かったです。流れが速い現代社会で、自然を敬う事、人と人の繋がりの大切さについて気付かせてくれる作品でした。

■Iさん

林業者として「おじいさんの植えた木を切る」事が出来るって素晴らしいですよね。人と木の命の繋がりがや、山の神様という意識は普段はあまり感じませんが、そういう事も考えさせられました。

▶ 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 主演の染谷将太さんと、伊藤英明さんはまさにハマリ役でしたね。
- ・ 自然の厳しさや優しさが本当に伝わりました。
- ・ エンドクレジットの後のワンカットが良かった！（最後まで観ましょう！）
- ・ 子どもの頃を思い出す景色や人のやりとりに癒されました。
- ・ 耳たぶをマムシに噛まれたらあなる？（笑！・観てのお楽しみ・・・）
- ・ 悪人がいなかったのも良かったですね。
- ・ 仲間や仕事っていいですね！
- ・ 山の神様っているんですね・・・。

▶ まとめ

不純な動機で飛び込んだ厳しい世界。でもその世界の事が好きになったら、辛い事も楽しく、そしてそれを守っていきたくなる気持ちになれるんだという事をこの映画は描いていました。

嫌だからすぐに投げ出すのは簡単ですが、「もう1回、もう1日やってみよう」という気持ち自体が、すでに人を成長させている事になっているんだと感じました。

林業の大切さ、木の神秘性、人の厳しさや優しさ・・・ユーモアティストの中に色々なメッセージが込められている作品でした。

劇場の大スクリーンで是非、ご覧ください！

47名の大使でスタートした新年度「ひので映画大使」。これからも映画の感動と素晴らしさを皆様に伝えていきます。大使以外の方も、「この作品の感動を伝えたい！」「この映画おススメです！」などのご意見がありましたら、事務局へお知らせください！

次回開催で記念すべき50回目を迎える「ひので映画大使」に今後もご期待ください！！

[➡ 関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

[➡ 関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

[◀ 前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)